

まざる
めめくる
ゆすぶ

11.7 sat
17:30 - 19:30

専門家・実践者と話そう！

地域の困りごとを 見えるようにする技術

地域のニーズ把握って
どうやるの？

支援内容を見直したい

当事者から寄せられる困りごとを
どう整理すればいいかわからない

多くの人に自分たちが取り組む
課題の重要性を伝えたい

調査とは、
情報を集め、整理し、活用する技術です。

調査を通じて、自分たちが取り組んでいる地域や
社会の困りごとについて、より深く理解し、活動
内容を充実させることができるようになります。
また、支援者、協働相手、助成団体といった外部の
人に、自分たちの活動の意義や必要性について、
根拠をもって伝えることができるようになります。
しかし、どのように調査すればよいのか、分か
らない方も多いのではないのでしょうか。

今回は、「調査って何？」という人から「もう調べ
てみたけど、これからどうすれば？」という人ま
で、社会調査の専門家と、調査を通じて支援事業
を開発してきたNPOを交えた、学びと交流の場を
開きます。

ゲスト

北海道大学大学院文学研究院 教授

宮内 泰介 さん

NPO法人イコールネット仙台 代表理事

油井 由美子 さん

会 場

仙台市市民活動サポートセンター 6 F
セミナーホール

対 象

市民活動団体、地縁組織、
社会調査に関心のある方など

定 員／参加費

20名程度／無料

申 込

Google Formまたは、
サポセン窓口・電話



※UDトークによる情報保障あり。
必要な方は事前にお知らせください。

宗教や政党またはそれに類似した団体等への勧誘、
商品の販売、ネットワークビジネスの勧誘等はでき
ません。もしそのような行為を見かけた場合はス
タッフまでお知らせください。

意見・情報交換しながら、一緒に学び合いましょう！

当日は、社会調査の専門家である北海道大学の宮内泰介さんから調査の意義や手法についてお聞きします。また、NPO法人イコールネット仙台の油井由美子さんから、東日本大震災の後にいった女性の被災・復興状況の調査や、それによって起こせた変化についてお聞きします。

ゲスト



北海道大学大学院文学研究院教授

宮内 泰介 さん

専門は環境社会学。著書に「実践 自分で調べる技術」（上田昌文との共著、岩波新書）、「社会学をはじめる」（ちくまプリマー新書）等。1992年より、ソロモン諸島でのフィールドワークを通じて、自然・紛争・移住の関係を研究。2004年より宮城県北上町（現・石巻市北上町）の環境社会学的調査に携わる。2011年の震災以後は、同町で復興支援を含む調査研究を実施。



NPO法人イコールネット仙台 代表理事

油井 由美子 さん

男女平等社会をめざして、情報提供、講座企画、活動サポート、調査研究、政策提言等を行っている団体。2008年に実施した「災害時における女性のニーズ調査」で見えてきた女性たちの不安が東日本大震災で現実になって以降、女性の被災・復興状況についての調査を実施。調査では、防災・復興について女性たちが主体的に発言・行動できるように、エンパワメントにつなげることを目指している。



まざる
めめくる
ゆずぶ

多様な主体による学びあいの場を通じた連携・交流事業です。

※“まざる”は仲間に入る、“めめくる”は芽生える、“ゆずぶ”は結ぶという宮城県の方言